

# 文化の仲間

京浜協同劇団と共に歩む文化の仲間 会報 No.86 2019年6月9日発行  
川崎市幸区古市場 2-109 京浜協同劇団内 TEL 044-511-4951 郵便振替 00250-3-18369  
ホームページ：http://www.keihinkyoudougekidan.com/bunkano-nakama/

第7回川崎郷土市民劇 公演

## 「日本民家園物語」2750人が鑑賞

2019年5月10日～19日、多摩市民館とエポックなかはらで、第7回川崎郷土市民劇が開催されました。出演された方、観劇された方から感想をお寄せいただきました。

### 何もないことが持つ可能性

キクチ トシオ

私が役者をやり始めて好きになったものがあります。

一つはこれから上演するためのまっさらな舞台。もう一つは、バラシを終えたまっさらな舞台です。どちらも確かに、まっさらな舞台ではあるのですが、私にとっては少々違う趣があるのです。

舞台、というものは、とても不思議なものです。時間や空間を超える不思議の詰まった空間。それが私にとっての舞台です。

演ずる「役者」というものも私にとっては不思議の宝庫で、年齢や性別、時には生き物としての種までも、とあらゆる垣根をとび越える存在です。そこが役者の楽しみであり、また苦勞のしどころでもあるのですが。

今回の私は日本民家園創設の立役者、古江亮仁さんの息子、恭雄という役どころでした。

少々浮世離れた感のある亮仁さんに家族というア



ンカーを打ち込む役。それが私のお役です。年齢は二十代前半。若者です。私、もう若者という年齢は過ぎてしまったので、ここがなかなかの苦勞です。そのあたりの評価は、ご覧になった方へお任せいたしましょう。

また今回の公演では、私は転換チーフなるお役を頂戴しました。

場面転換に伴う道具類（机や椅子、壁として使われる「パネル」など）の出し入れを管理する立場です。これがまた難儀で、舞台経験の少ない方も含めて、いかに安全（転換中のケガは結構な頻度で起こるのです）



写真©小池 汪 (以下同)





かつ的確に配置換えを行えるか。転換が舞台の進行を妨げることがあってはいけませんから、意外と重たい立場です。

チーフをお受けするにあたって、私は役者の皆さんにお話ししました。「転換は雑用ではありません。大事なお役の一つです。舞台が滞りなく進行することの尊さを皆で共有出来たらありがたいです」、そんなことを申し上げました（役者は舞台上で台詞を言えばいい、というものではありません。舞台の進行に伴う様々なことは、基本的には役者が管理します。その交通整理をするのが、例えば演出さんです）。

その甲斐あってか、今回の舞台は大きな事故もなく終わることが出来ました。ありがたい限りです。

冒頭で申し上げた二つの「まっさらな舞台」ですが、前者はこれから私たちのものになる舞台で、後者はこれから誰かのものになる舞台、という違いがあります。

何にもないがらんとした舞台に、建て込みをしていきます。セットが組みあがり、照明が吊り込まれていくうちに、これからこの舞台で役者をやるんだ、と緊張と期待が大きくなってくるのです。そして二日目、三日目と過ごすうちに、舞台は半ばわが家であるかの



ような気までしてきます。

公演が終わり、バラシになります。セットを解体し、照明や幕を下ろし、舞台の板の上に張ったカーペットを片付け…。そのうちがらんとした「舞台そのもの」が現れます。もう私たちのものではないことに少しの寂しさを感じはしますが、きれいに掃除された舞台はすがすがしさでいっぱいです。これからしばらく、この舞台は「誰かの公演を待つ」ものになるわけです。

そう。

何もないことが持つ可能性。または何かに変わりうる余地のことを「空」（くう）などと呼びます。からっぽでなければ何かが入る余地がない。役者もまたしかりで、経験という素地に「空」を目いっぱい詰め込んで、次の役に備える。

坊さん役者はそんなことを考えるのです。

（協力出演者・僧侶）



## 実は私「日本民家園」に行った事がない

松本 馨

今回の市民劇は私の知っている現代が舞台でした。

中卒の労働者が「金の卵」ともてはやされる少し前、1960年に横須賀から川崎に通う労働者となった私には懐かしいシーンがたくさん。

芝居を見ながら思い出しました、勤務先の休日には川崎港や横浜港の荷役、建築現場の下働きのために富士見公園前や桜木町駅前で「立ちんぼ」をやった私の姿を。現代（いま）では珍しくないダブルワーク、就業規則違反のアルバイトですがとにかく「金」が欲しかったのでそんな事は無視してやりましたね。

そんな世間全体がまだ貧しい時代でしたから「日本民家園」創設の動きがあった事など私には全く知る由もない事でした。その上自宅から通勤出来る環境でし

たから「故郷」なんて言う感覚も持ち合わせてはいませんでした。

振り返って当時私の前にそんな問題が提示されたらどんな態度をとっていただろうか？ おそらく「今は民家園なんか作っている時じゃねえだろう」ぐらいの事を言ってたと思う。

過去の遺産を大切に、未来へと受け継いでいく事の大切さは今の私には理解できますが、日々の暮らしに追われていたあの時代に「日本民家園」創設に尽くされた皆さんには本当に頭が下がる思いです。そしてそれを知らせてくれた市民劇を作ってくれた皆さんありがとうございました。

最後に大事なことを忘れていました。実は私「日本民家園」に行った事がないのです。これを機会に年内に一度は行ってみるつもりです。

(川崎市中原区在住)



「日本民家園ものがたり」奮戦記

## 代役を2週間前に言われて

教育長役 城谷 護

「藤井さんが入院で出演できなくなった。代わってやってくれ」と言われたのはなんと公演2週間前のことだった。みんなが3、4か月かかって覚えたセリフを2週間で？ ナヌーっ！

教育長といえば、民家園ができるかどうかのカギを握る行政側の事実上の責任者で重要な役。それに、1幕では1場面しか出ないものの、2幕では6場面全部、出ずっぱりの役で準主役。セリフも数えてみたら100以上もある。トホホー！

しかも公演2週間前と言えば、制作責任者としてはお客さん集めの追い込みで最も頑張らなければならない時だ。どうしよう。もう、プロの人に頼むしかない。しかし、プロの人がそんなに急に言われても空いているはずがない。さあ、どうしよう。受けなければ公演



の幕は開かない。……悩みに悩んだ挙句、受けることを決意したのだった。

さあ、それからというもの、制作の仕事は制作助手の関昭三さんをお願いして、役に突っ込まざるを得ない。地獄の日々が続いた。

・ ・ ・ ・

藤井康雄君は劇団で若い時からずっと主役クラスの役をこなしてきた人だ。それに比べ、「この人はへたくそだから」と古参女優が言うように、私は大きな役にはほとんど付けてもらえず、いつも制作か、まあ付いても労働者1・2・3、通行人1・2・3だった。劇団には創立時からいるから60年になるが、主役はもちろん、準主役なんて、やったことがない。

だから、藤井君の重厚な教育長の演技に代われるはずがない。悩んでいるとき、妻の瀬谷やほこが言った。「あんたのキャラでやるしかないのよ」。それで少し気が軽くなった。それで、自分のキャラでやることにした。

とはいえ、似たような場面や似たようなセリフが繰り返される小川信夫先生の台本。わずか6回の稽古ではセリフは何とか入ったものの、体が覚えていないから出る場面を間違えたり、どの場所から出るかを間違えて「徘徊」したり、本番では多くの出演者に心配と迷惑をかけてしまったことだろう。

さて、終わってみてどうだったろうか。見聞きした感想をいくつか挙げてみたい。



#### (4) 第7回川崎郷土市民劇公演

- ・よくあの短時間で覚えられたね。驚いた。
- ・あのキャラが面白かった。全体にシリアスな芝居で笑う所がなかったので、教育長が出てくると笑いが出てほっとした。
- ・和製のチャップリンかと思った。ユニークな面白い演技だった。
- ・教育長は台詞が自然で宮城出身の教育長になり切っている。この教育長でなければことは成就しなかったろうと思わせる何かがあった。
- ・あんな教育長だったから、部下がついていったんだと思う。
- ・制作部をやめて役者に転向した方がいいよ。  
身に余る言葉をいただいて感謝している。  
そして、藤井君が退院してほっとしているが、代役をやらせてもらったことに感謝するとともに、これからの健康回復を願ってやまない。

▽ ▽ ▽ ▽ ▽ ▽

公演全体に対する評価も予想以上に良かった。「涙

する所もあって感動した」、「自分たちの時代が描かれていて親近感が持てて、とても共感できた」、「民家園がこんなに深い意味を持っているのかと再認識した。民家園に行ってみたい」などの感想が多かった。

しかし、観客は目標の3,000人には及ばず、約9割の2,750人に終わった。私の責任が問われることになる。

藤嶋とみ子委員長はじめ、実行委員の皆さんはほんとうによく頑張ってくださいました。「市民が中心になってこんなに一生懸命やるイベントは珍しい」と市の職員に評価されるように、みんなで取り組んでいるのがこの市民劇だ。7回、12年間続いている行事である。これまでは作品を小川信夫さんに依存してきたが、世代交代を考えなければならぬ時が来ている。若い制作者、書き手にも出てもらいたい。課題は大きく横たわっている。

(京浜協同劇団)

\* \* \* \* \*



京浜協同劇団と共に歩む文化の仲間

## 第21回定期総会のご案内

記念講演は小池れいさん（舞台美術家）です。

昨年、台風の接近で総会が中止になった第21回定期総会ですが、きたる9月8日に開催いたします。2年ぶりの定期総会の開催です。会員の皆様のご参加をお願いします。

日程 2019年9月8日(日)

会場 スペース京浜（京浜協同劇団稽古場）

主な内容 13:30～14:50 総会

15:00～16:30 小池れいさんのお話 16:30～16:50 小池れいさんと交流

17:00～ 全体交流会

(総会・記念講演の参加は無料ですが、全体交流会は会費2,000円を予定しています。)

世話人会からお願い 今年度の会費が未納の方は、納入をお願いします。

劇団員による劇団員紹介 第5回——岡野三郎さんによる河村はじめさん紹介

# 「河村はじめ」の一步

京浜協同劇団 岡野 三郎



1967年、熱心なクリスチャンで教師の父親と優しい母親の下で長男坊として北九州に生まれ育つ。妹が二人。ボンヤリした子供だったが成績優秀で絵が得意。中学には美術部がなかったので、何か絵が描けるのではと演劇部に入部。中2で不本意ながら転校、本人曰く「涙に明け暮れ、抜けガラ状態」に。

高校では水泳部とバンドの日々。父親が転校の償いのように買ってくれたドラムを叩き、浪人時代にはストリートスライダーズのコピーでライブハウスに出演もした。水泳もなかなかのもので県大会出場。青春謳歌の中高時代に思えるが、神経症的性質で悩みも多い時代が続く。

1986年、親元を離れ、全国大会一位のジャズバンド、Napaj (ナパジ) のいる横浜国大に入学。ジャズ研で音楽に浸る。当時は細身だったが、バイト先の仏料理レストランでの超豪華な賄い食のお蔭でたちまち70キロ台へ（その後、20代終りには80キロ台へと順調に増量）。恋をし失恋もした。ドラマーとしての活路は開けず、就職する気持ちにもなれず、大学は6年かけて卒業。

川崎へ移り住み現在の戸手教会に通うようになった。一度はダスキン営業所の正社員にもなったが、数年でやめ、1999年（32歳）に牧師の誘いで教会に住み込み、地域活動センター立ち上げに関わる。教会ではクリスマスに劇を上演していたが、演技や音響、舞台作りにも異様にこだわる自分を発見した。一度台本も書いた。

現在の仕事は桜本青丘社の知的障がい者グループホームのサービス管理責任者。9名の面倒を見る。夜勤も有り重労働。

2001年（34歳）に京浜から声がかかり、研究生となる（卒業時7名）。入団後の印象的な作品をいくつか挙げてもらった。2002年の研究生卒業公演の「例外と原則」、2004年の「間違いの喜劇」、2006年の和田作品「チムニー」では音響オペを担当し面白さに開眼。2007年の「巨匠」は最も打ち込んだ作品で、役作りに没頭。主要人物の一人として参加できた思い出

の公演の由。以後、音響を担当したり役に就いたりしたが、役者では弾けられないのが悩みである。2010年の「<sup>いたち</sup>鼬」しかり、2012年の「臨界幻想」、2017年の「病気」、今年の市民劇「民家園ものがたり」でも同様だった。

これまで音響担当として、自分なりにやれる最大をやった実感があるのは「おりん」。音響をやっていると、芝居そのものがよく見える（役者だと部分的にしか見えない）。色々な所でもどかしさを感じることはあるが、懸念事項が解消されていく稽古過程に劇団の経験値の高さ、時の厚みを感じ誇らしく思う。今後最大の目標は、どんな形でも本を一本書きたい。ちゃんと挑戦して、ちゃんと挫折したいとのこと。

最後に芸名の「河村はじめ」の由来を聞いてみたところ、本名の「川本」と名乗ってもかなりの頻度で再会時に「カワムラ」と言われるので姓は河村。名は本名の創一が嫌いで、どちらの字も「はじめ」と読めることから中学時代の演劇部の仲間にはそう呼ばせていた。人生で一番輝いていた、希望と不安が渦巻いた時代のことを思い出して芸名にしたとの由。

以上、河村兄の半生を振り返ってみました。自分のことをあまり語らない、何となく不思議な雰囲気醸し出している河村兄ですが、少しは輪郭が見えてきたのでしょうか。悩み多き青春を過ごし、音楽や絵画、そして何より芝居を愛している一人の人間です。劇団の次代を担う生え抜きの人材として、面白い作品も是非書いてもらいたい。「ちゃんと挫折したい」などと言っていますが、ブラックカフェの時にその才能の片鱗は見せているので、大いに期待して新作を待ちましょう。



連載 「京浜協同劇団」と私——第8回

# いよいよ民謡の採譜に…

岡田 京子

「アコーディオンと共に歌う会」があちこちで開かれるようになって、次は、いよいよ民謡の採譜に入ることになりました。その中の一つ仙北郡の山奥の戸沢というマタギ（狩人）の部落でささら（獅子舞い）をやる日がわかって出かけた時のことを思い出します。バスの終点からその日は台風の予報が出ていて、すでに暮れかかっている山の道を走るようにして歩きました。

風がゴォーッと鳴ると、大きな栗の実が道にまでバラバラと落ちるのです。思わずかけ寄ってはポケットに入れ入れ歩いていたのですが、いくら歩いても目的地に着かず、山道は暗くなり風は強くなるばかり、しまいには泣きそうになって、もう落ちてくる栗には見向きもせず走ったことを思い出します。

たどり着いた戸沢部落では、ささらが始まっていますが、見物人は10人ほどの子どもと私だけです。獅子が三匹、笛、太鼓、鉦が一人ずつ。それに「おおじ」というひょっとこの面をつけた神楽特有の道化がいました。股の間からハリボテの大きな一物をつき出して、私はさんざんからかわれました。笛は単調

なフシを何度もくり返して、獅子たちも何となく気のないように踊って30分ほどで終わりました。伝統あるはずのささらにははなんとも盛り上がり欠けるのですが、それでも部落のくらしの気分が、やっぱり濃厚に伝わってくるのでした。

ささらが終わると、どこからともなく人が集まってくる、それとともに重箱や酒や茶わんも集まって、神社の中の板の間に電気をつけて、飲めや歌えの大酒盛りとなりました。つまりこちらのほうがみんなの楽しみであり、ほんとうの祭りなのでした。やがて歌声が沸きあがり、私の知っている「おぼこ」や「長者の山」もあり、知らないものもたくさんあって、私も部落のかあさん（奥さん）たちと歌って飲みました。さそわれて一緒に踊った秋田の手踊りは、とてもむずかしいのですが、かあさんたちは、ほんとうにさそい上手だったと思いました。……というように、こんな形で私は気楽に出かけるようになっていたのです。でも60年以上たった今は、このこと自身が消滅していると思うのですが……。

## 第10回 かわさき演劇講座 ゼロから芝居を創ってみよう

日程 7月13日（土）・14日（日） 10時～17時

会場 高津市民館 大会議室（JR・東急 溝の口駅下車3分）

講師 大谷賢治郎さん（演出家・company ma 主宰）

対象・定員 講座に関心のある方、40名（先着順）

参加費 高校生以下500円 一般1000円（初日にご持参ください）

持ち物 動きやすい服装、上履き、タオル、飲み物、筆記用具、昼食

申込先 かわさき演劇まつり実行委員会 事務局

FAX 044-533-6694

メール matsuri\_engeki@yahoo.co.jp

申込方法 (1)名前（ふりがな）(2)年齢 (3)住所 (4)電話 (5)メール に「かわさき演劇講座参加希望」と書き添え、FAX またはメールでお送りください。

6月30日締切

問合せ 川崎市文化財団 044-272-7366

かわさき演劇協会 044-511-4951

1972年に始まった「かわさき演劇まつり」は、市内で活動する演劇関係者と市民が、一年一年力を合わせて作り上げてきたものです。

2001年以降は演劇の上演と演劇講座を隔年ごとに開催してきました。

次回2020年7月の演劇まつりは『冒険者たち ガンバと15ひきの仲間』（公演）に決定！ この舞台の演出にあたる大谷さんが、公演も見すえた内容の講座を行います。奮ってご参加ください。

かわさき演劇まつり実行委員会

京浜協同劇団 第93回公演／創立60周年記念 第2弾！

# 今秋は喜劇2本立を企画

台本・演出 護柔 — (京浜協同劇団)

京浜協同劇団は今年12月、還暦を迎えます。

60周年を記念する舞台の演目を喜劇・2本立てに決定。

「結婚の申し込み」(チェーホフ原作／伊賀山昌三脚本)と落語の「死神」を護柔が台本にした短編モノ、この2作品。

「結婚の申し込み」は、秋田弁に翻案された作品。登場人物は3人。約45分、紋付袴姿で、隣の娘を嫁にほしいと申し込みに来た男。娘の父親に歓迎され、娘と2人きりで話をするに……。会話の面白さが観るものを惹きつけます。どんなプロポーズの芝居になるか？ 果てしてどんな結末に？ 娘心の微妙な変化が笑いを誘います。演出は藤井康雄。さて、配役は？ 観てのお楽しみ。

もうひとつの「死神」は、落語好きな人なら良くご存知の演目。三遊亭圓生・立川談志・三遊亭円楽(五代目・六代目)柳家小三治・柳家喬太郎など、多くの噺家がそれぞれ個性の違った死神を演じて客席を笑わせてくれます。

柳家小三治が絵本「しにがみさん」の前書きこんなふう解説しています。(落語「死神」は、明治中期に三遊亭圓朝がイタリアの歌劇「靴直しのクリスピノ」から翻案したとされています。「グリム童話集」の「死神の名付け親」も同様の話で、死をあつかいながら、子供から大人まで楽しめる、恐ろしく滑稽な話です。)

この話に登場する死神は、おどろおどろしい、いかにも怖い死神ではなく、親しみさえ感じる死神です。

落語は、落語家の人間性が反映され、また、時代によってかわっていきます。そして、悲劇よりも喜劇が

より難しいのですが、笑っておしまいでなく、生きていく上での喜びや奥深いものを伝えられたらと思っております。

川崎市の人口が150万人を超えたといえます。

医療が発達した現在でも、やはり寿命というものがあるようで、昨年市内で1万1,289人が亡くなっています(市の統計より)。死神サンに連れて行かれたのかナァと思うと、この噺も何だか現実味が増してくるから不思議です。単純計算で毎日30人が……。死神サンも忙しい世の中ってことになりますなあ。終活なんて言葉が流行って、身辺整理を始める人の話も耳にします。そんな世相も踏まえた立体落語のになればと考えているところです。

落語の世界が持っている本来の面白さは、噺家の語りから想像をめぐらし、聴くも側と一緒に創造して創る日本の話芸、庶民の愉しみであります。

芝居に仕立てて演じることは観客の創造力を奪うことになるかも知れません。京浜協同劇団の持つ色合いを損ねず温かな舞台にすることが大きな課題になるでしょう。

「死神」というタイトルから想像もしなかった、あつと驚く舞台になれば……。と台本を執筆しながら演出の構想を練っています。

二つの芝居に共通する装置は？ スペース京浜が新たな「古市場演芸場」に変身(?)出来たらイイなあなどと、夢を見ている。ぜひ実現させて60周年に相応しい公演にしたいと思っています。皆さまのおいでをお待ち申しあげて、ご案内とさせていただきます。

京浜協同劇団第93回公演 創立60周年記念第2弾！

喜劇・二本立て

## 『結婚の申込』

◇チェーホフ作／伊賀山昌三脚本／藤井康雄演出

## 『死神』(立体落語)

◇三遊亭園生作／護柔一台本・演出

木戸銭 一般2900円／シニア2500円／学生1500円

会場 スペース京浜(京浜協同劇団稽古場)

問合せ・申込先 京浜協同劇団

〒212-0052 川崎市幸区古市場2-109

TEL 044-511-4951 FAX 044-533-6694

HP: <http://keihinkyoudougekidan.com/>

2019年 開演時刻

11月22日:金	夜 7時
23日:土	朝 11時
	昼 15時
24日:日	朝 11時
	昼 15時
11月29日:金	夜 7時
30日:土	朝 11時
	昼 15時
12月1日:日	朝 11時
	昼 15時



◎文化の仲間通信◎

◆映画 ニューヨーク公共図書館 エクス・リブリス  
日程 5月18日(土)よりロードショー 7月5日  
まで 連日 10:15、14:15、18:15 (途中休憩あり)

自由席・定員制・入替制・整理券制  
会場 岩波ホール(神保町交差点角)  
料金 特別鑑賞券1,600円(当日一般2,000円、シニア・学生1,500円)

アメリカ映画界の“生ける伝説”フレデリック・ワイズマンの最新作。

問合せ 岩波ホール 03-3262-5252

◆劇団民藝公演 闇にさらわれて

日程 6月23日(日)～7月3日(水)  
13:30、15:00 または 18:30 開演(詳細問合せ)  
会場 紀伊國屋サザンシアター TAKASHIMAYA  
作 マーク・ヘイハースト/訳・演出 丹野郁弓/出  
演 日色ともゑ・篠田三郎・西川明・佐々木梅治ほ  
か

料金 一般6,300円 夜チケット4,200円  
U25 3,150円 高校生以下1,000円  
1931年、ベルリン。ナチズムが急速に台頭する中、  
若き弁護士ハンス・リッテンはアドルフ・ヒトラーを  
ある殺人事件の証人として法廷に召喚し、3時間にも  
及ぶ尋問を行い反ファシズムの旗手としてその名をと  
どろかす。しかしその2年後、ヒトラー内閣が成立  
……。

問合せ・申込み 劇団民藝 044-987-7711  
(月～土 10時～18時)

◆青年劇場公演 みすてられた島

日程 7月6日(土) 14:00  
7月7日(日) 14:00  
会場 紀伊國屋サザンシアター TAKASHIMAYA  
作・演出 中津留章仁/出演 葛西和雄・広戸聡・藤  
木久美子・湯本弘美・大木章 ほか  
料金 一般 [前売り]5,150円 [当日]5,500円  
U30(30歳以下) [前売り]3,100円 [当日]3,400円  
中高生シート1,000円 (全席指定)

20XX年。とある島。戦争が終わって安堵していた  
矢先、突然本土から独立を言い渡される。

問合せ・申込み 青年劇場 03-3352-6922

◆川崎市民劇場第351回例会

劇団前進座公演 裏長屋騒動記  
日程・会場 8月10日(土) 16:00 幸市民館  
8月13日(火) 18:00  
14日(水) 13:00 エポックなかはら  
監修・脚本 山田洋次/演出 小野文隆/出演 藤川  
矢之輔・嵐芳三郎ほか

屑屋の九六が、浪人朴齋から二百文で買った仏像を  
若侍の作左衛門に三百文で売ったところ、像の腹の中  
から出てきたものは……。

問合せ 川崎さいわい市民劇場 044-244-7481  
川崎市民劇場なかはら 044-455-7950

◆東京芸術座 創立60周年記念

公演 No.105 終りに見た街  
日程 8月21日～25日 14:00 または 19:00 開演  
(詳細問合せ)

会場 俳優座劇場(港区六本木4-9-2)  
原作 山田太一/脚色 いずみ凜/演出 鈴木龍男/  
出演 神谷信弘・桶川人美・大橋純子・笹岡洋介ほか  
料金 一般5,000円 U30 3,500円  
高校生以下2,500円 ほか

2019年。東京近郊に住む清水要治は、旧友の宮島  
敏夫と久しぶりの再会をはたす。その夜、二つの家族  
は突然昭和19年に投げ出されてしまう。……

問合せ・申込み 東京芸術座 03-3997-4341

◆民話オペラ 宝蓑

日程 9月29日(日) 14:00 開演  
会場 カルッツ・かわさき(教育文化会館向)  
料金 指定席5,000円 自由席3,500円  
総監督 佐藤征一郎(市民文化大使)/音楽監督 谷  
川忠博(台本・作曲)/指揮 堀越隆一/合唱指揮  
常森闘志/演出 境信博/振り付け 花柳錦右/  
合唱 民話オペラ宝蓑合唱団/出演 寺島夕沙子・  
きのしたひろこ・境信博・秋山徹ほか

日本昔話にある、ある山姥からもらった蓑に助けら  
れた美しい娘の物語。(サプライズ友情出演伊藤多喜  
男)

問合せ・申込み 実行委員会事務局 川副有康  
FAX 044-922-2550

◆劇団 よこはま壺座 第17回公演

ジレンマ ジレンマ  
日程 11月30日(金) 14:00 / 19:00  
12月1日(土) 14:00 / 18:00 2日(日) 14:00  
会場 神奈川県立青少年センター多目的プラザ  
作 古城十忍/演出 濱田重行/出演 河住靖一・川  
西玉枝・野口由美子・三木直史ほか

料金 前売2,500円 当日3,000円(日時指定・予約制)  
誰もがパニックになった。あの3.11で原発の安全  
神話は崩壊した。言い逃れと責任転嫁。その図式は今  
も続いている。3.11の放射能被害の原因は何処にあ  
るのか? 判っているのに追及は緩やか——。

問合せ・申込み よこはま壺座 090-8175-3031

■文化の仲間ギャラリー■ 大谷 敏行◎

トランプを 国賓に招く政治ショー	十連休 やっと終わってでる吐息	我が家には 庭はないけどよい家庭	北の国 虎の威を借りこけおどし	中国語 日本語凌駕しかまびすし	いたいけな 幼な子輪禍度し難し	「老人は死ね」と言われて元氣出る	カチャーシー 勝利の舞いのリフレイン	「厳選」大谷敏行の川柳塾
---------------------	--------------------	---------------------	--------------------	--------------------	--------------------	------------------	-----------------------	--------------

二〇一九年五月二日『赤旗日曜版』掲載